

経営比較分析表（平成29年度決算）

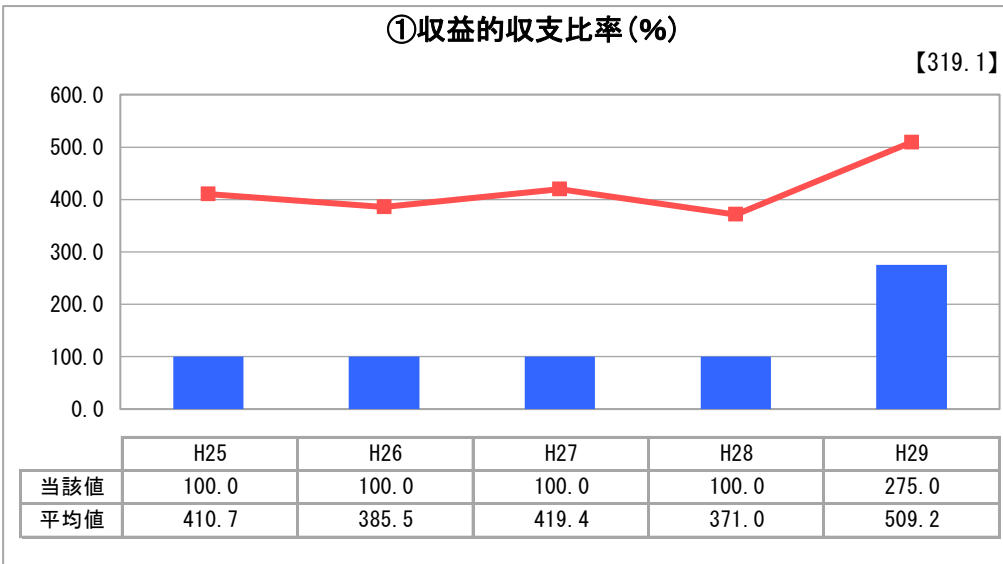
福井県鯖江市 鯖江駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

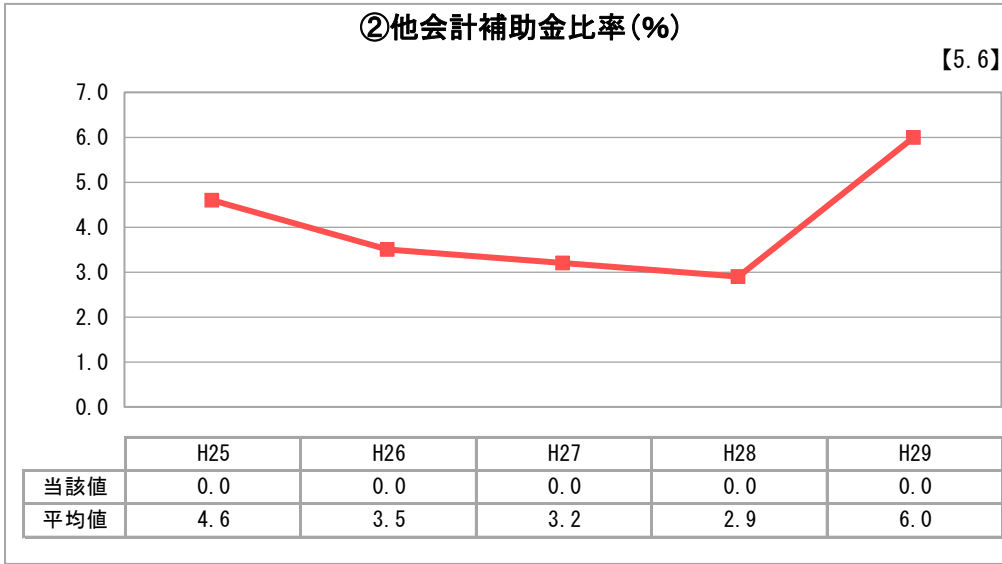
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	2,152
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

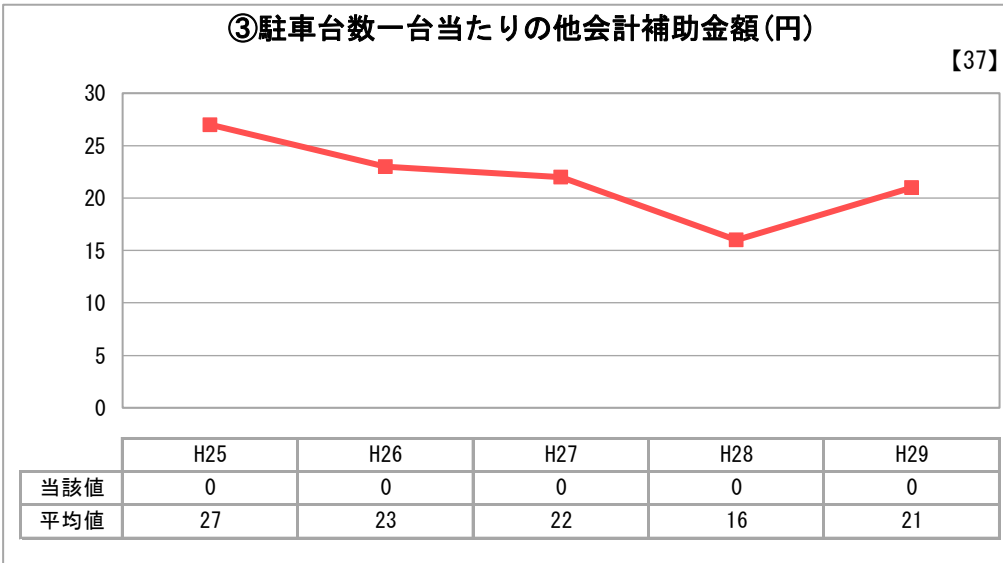
1. 収益等の状況



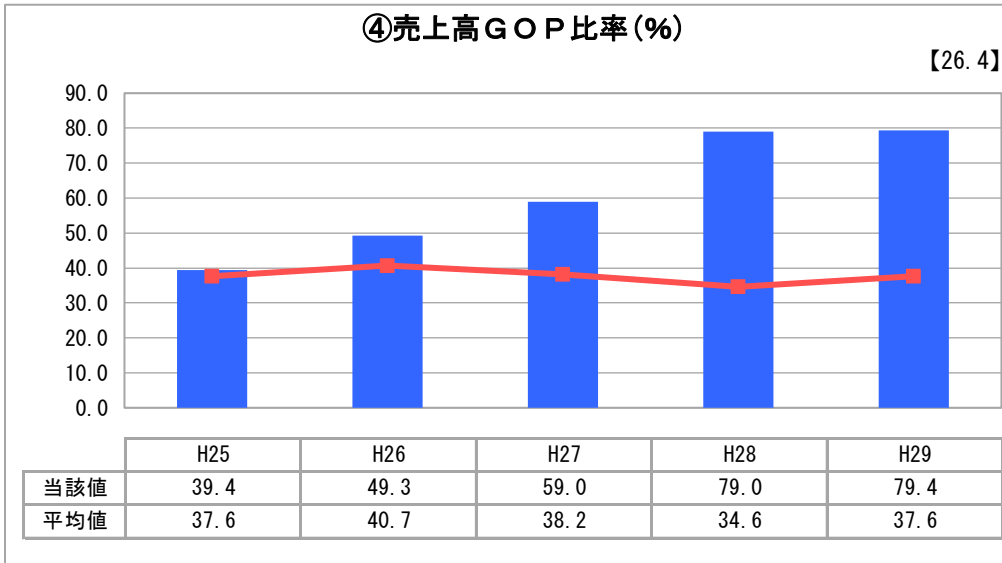
「経常損益」



「他会計補助金割合」

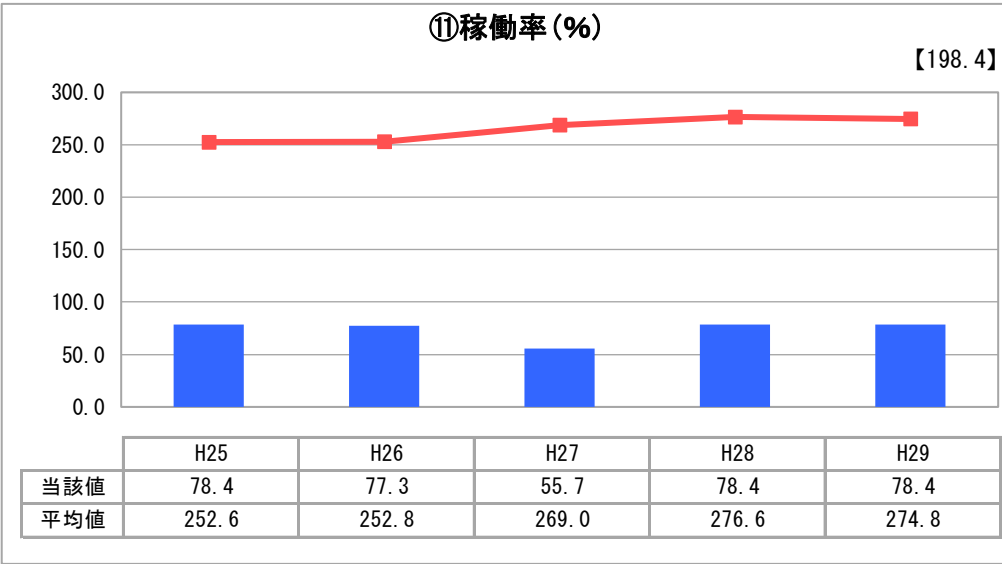


「他会計補助金額」

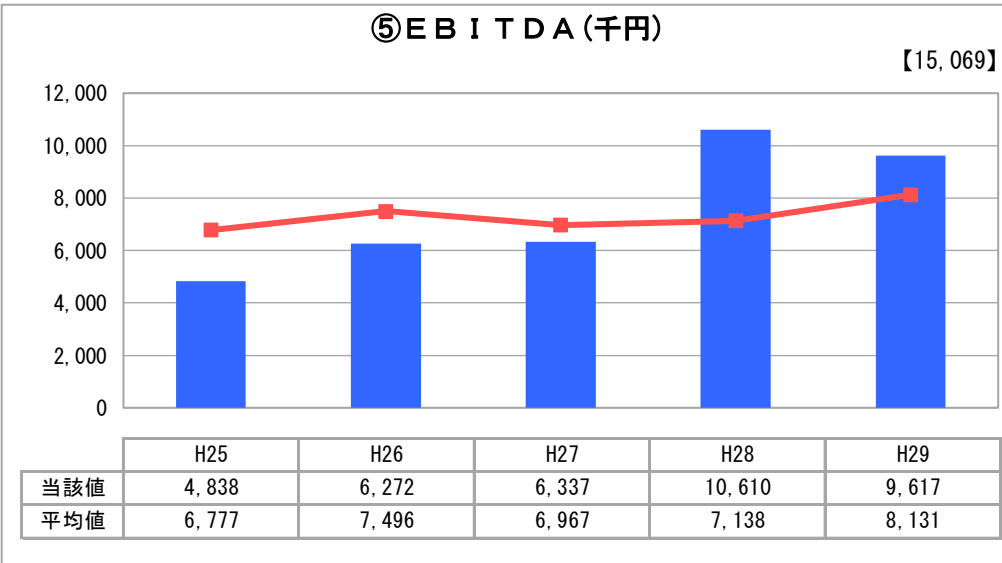


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

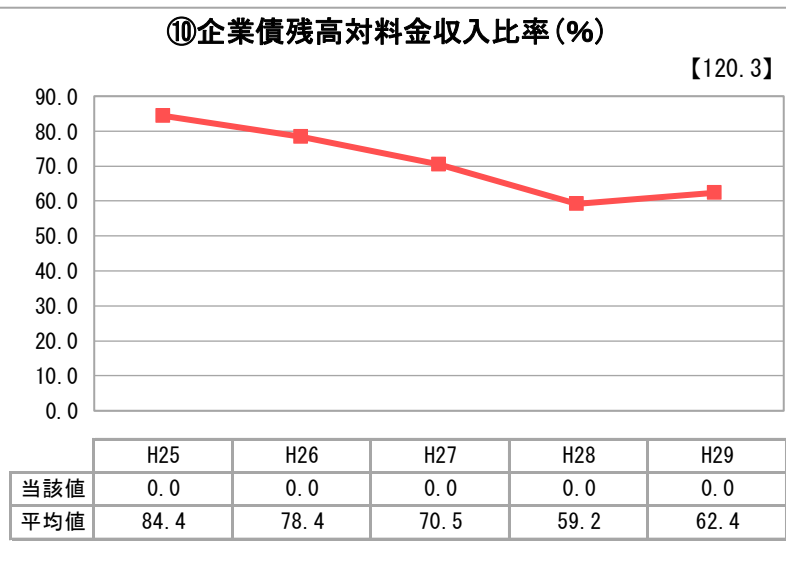


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
26
⑧設備投資見込額(千円)
6,370



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。

②③他会計補助金は受けていない。

④⑤売上高GOP比率（営業利益）およびEBITDA（減価償却前営業利益）は、近年平均値を上回っているが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が減少し大きく改善している。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。

平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替えを行っており、今後精算機発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について

⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。

利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括

経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、支出減の経営努力を重ねる。また設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。

経営比較分析表（平成29年度決算）

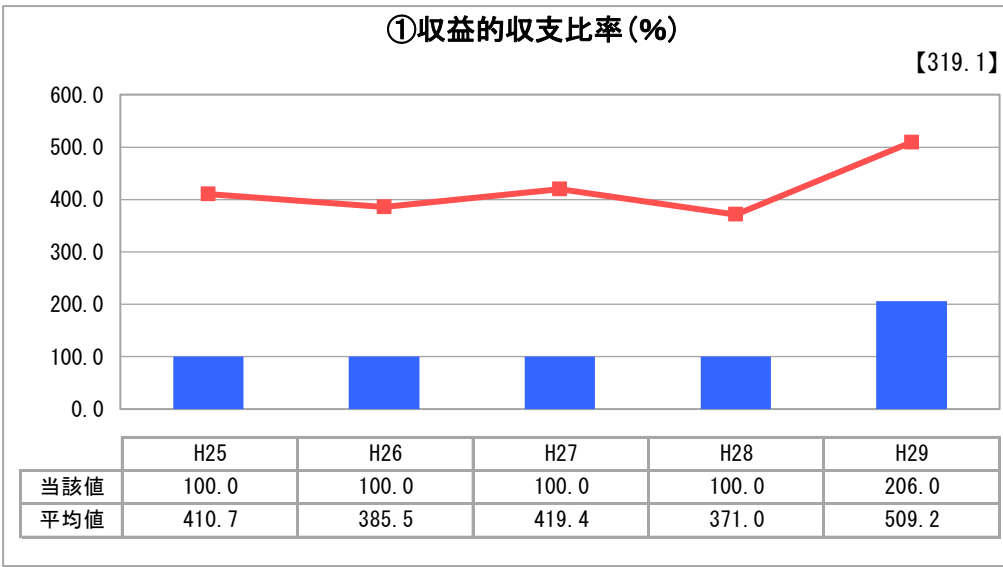
福井県鯖江市 鯖江駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	30	

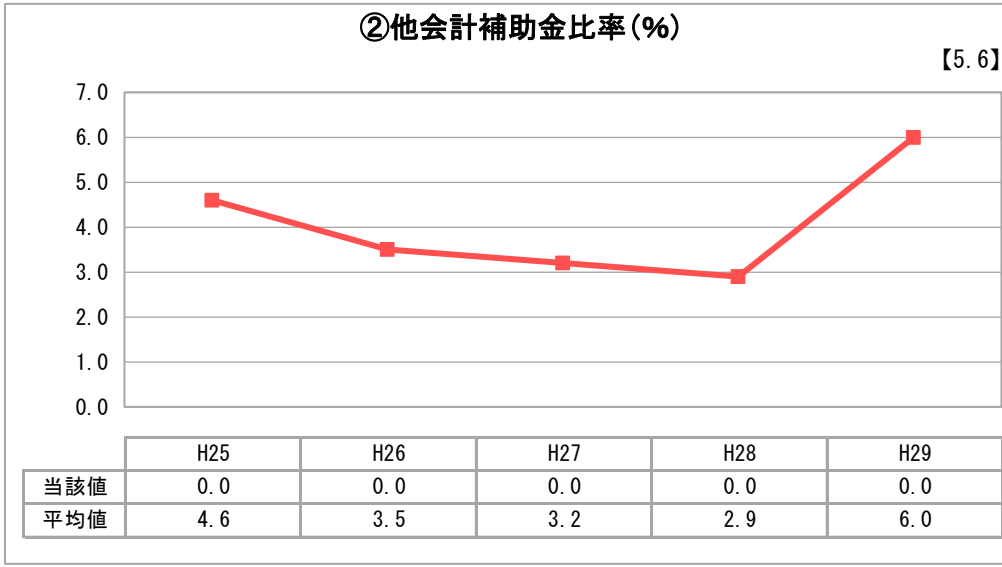
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	901
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
31	100	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

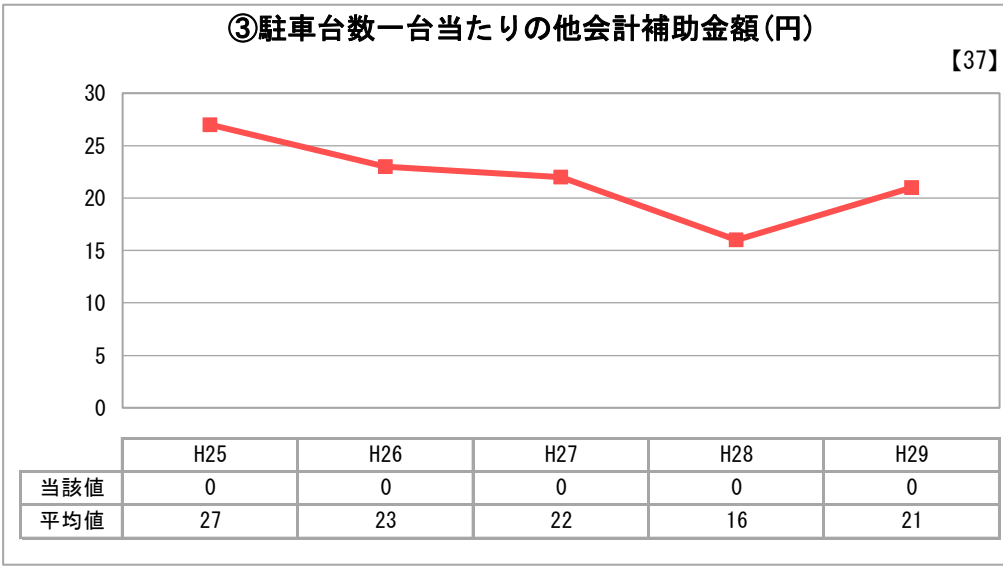
1. 収益等の状況



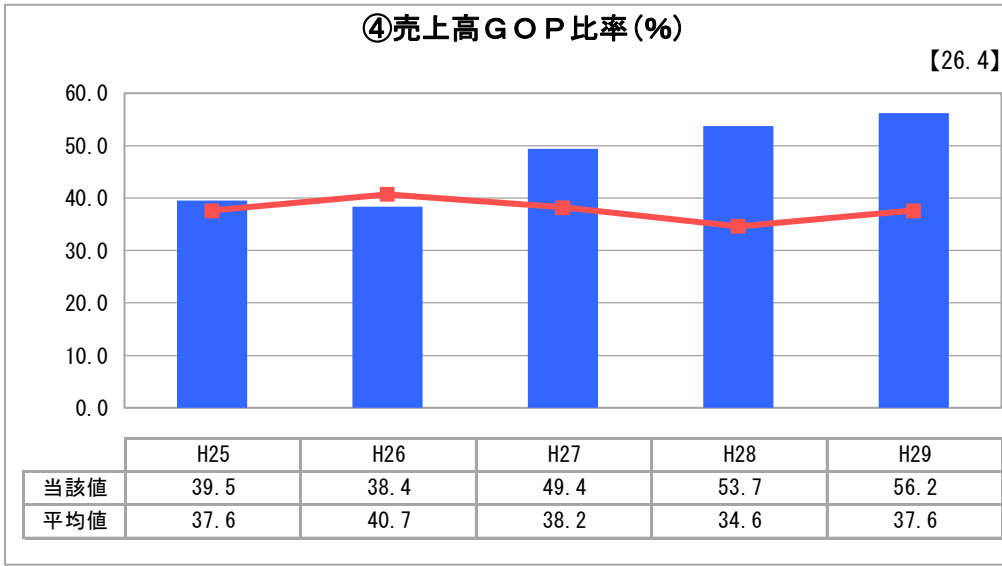
「経常損益」



「他会計補助金割合」

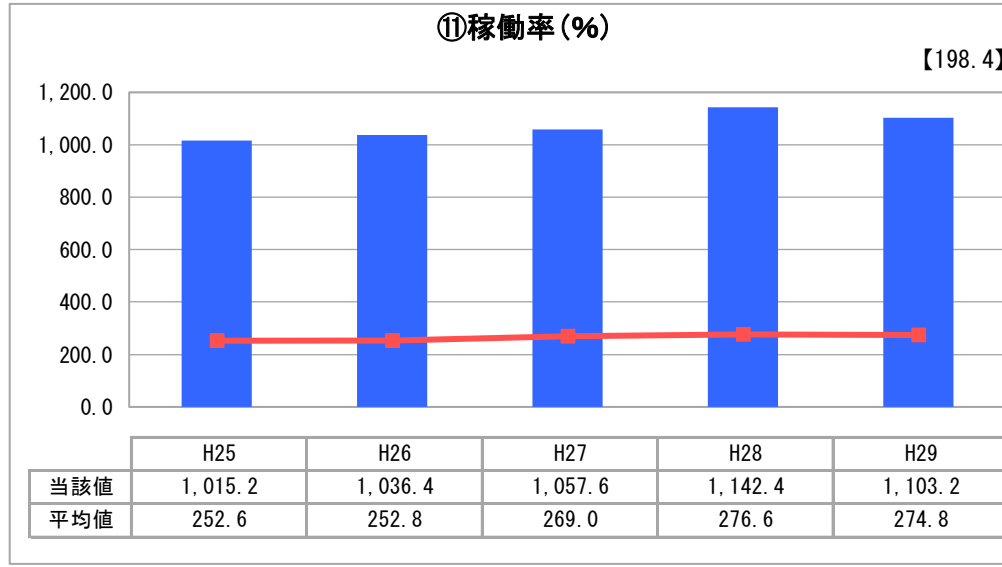


「他会計補助金額」

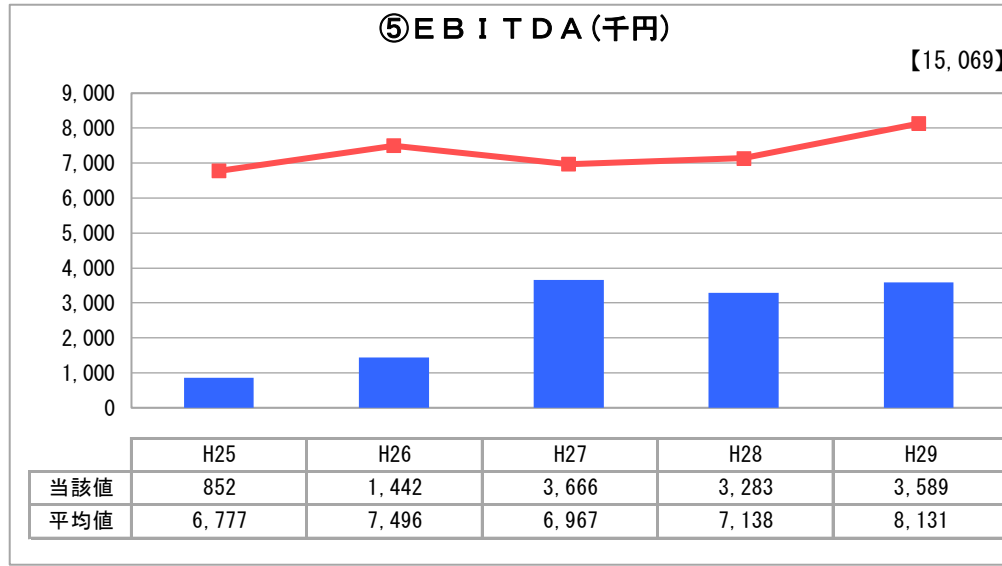


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

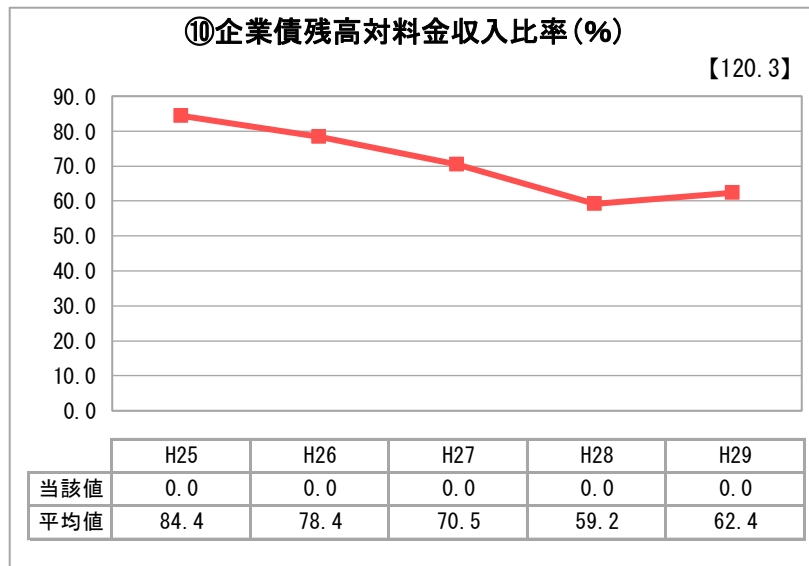


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
35
⑧設備投資見込額(千円)
5,459



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。

②③他会計補助金は受けていない。

④⑤売上高GOP比率（営業利益）およびEBITDA（減価償却前営業利益）は、近年平均値を上回っているが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が減少している。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。

今後精算機発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について

⑪稼働率が高い要因として、1時間の無料時間を設けており、1時間以内の利用が多いことが挙げられる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。

利用実態として、日中・夕方に満車状態になることが多く、夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括

経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。また日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、支出減の経営努力を重ねる。また設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。

経営比較分析表（平成29年度決算）

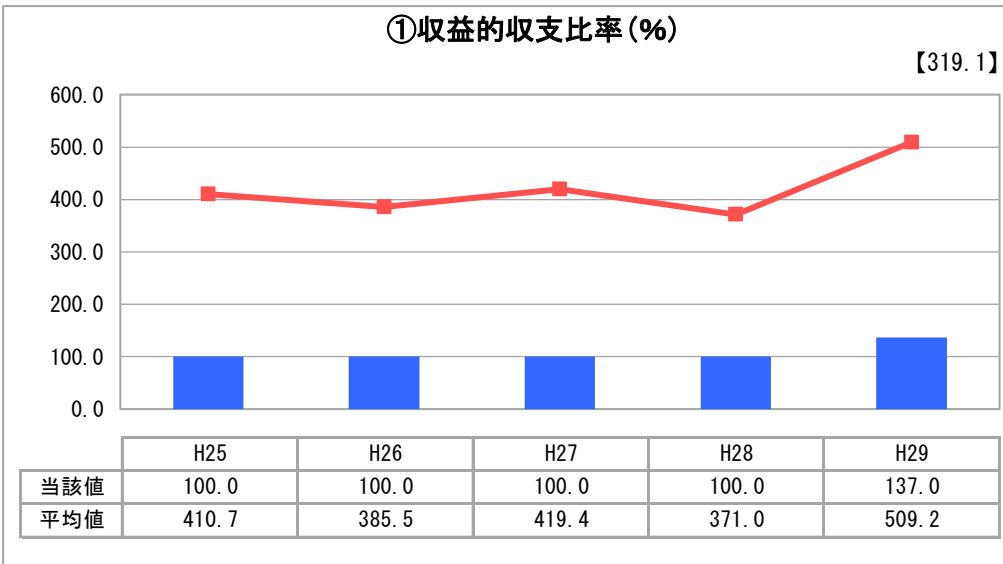
福井県鯖江市 鯖江駅東第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

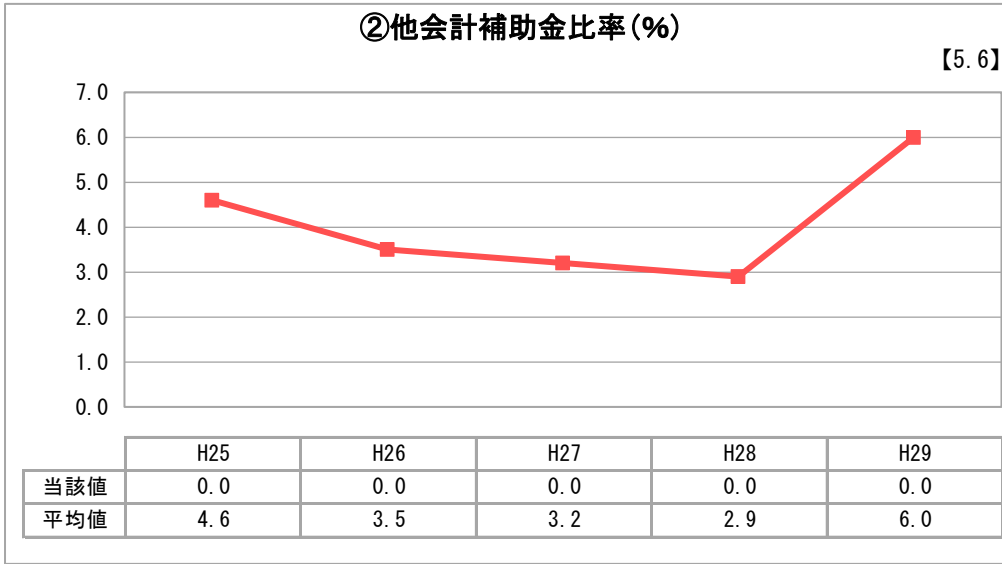
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	1,764
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
79	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

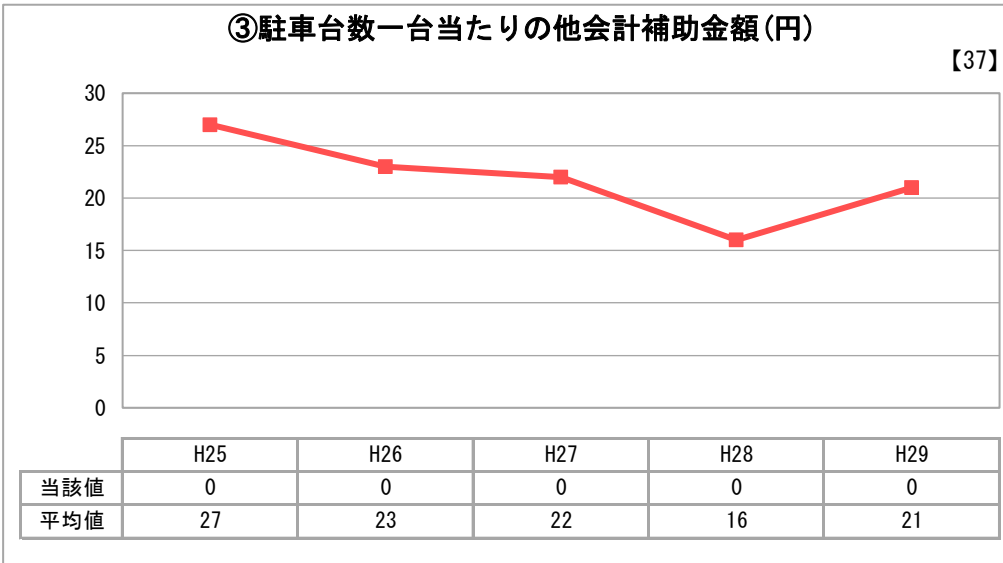
1. 収益等の状況



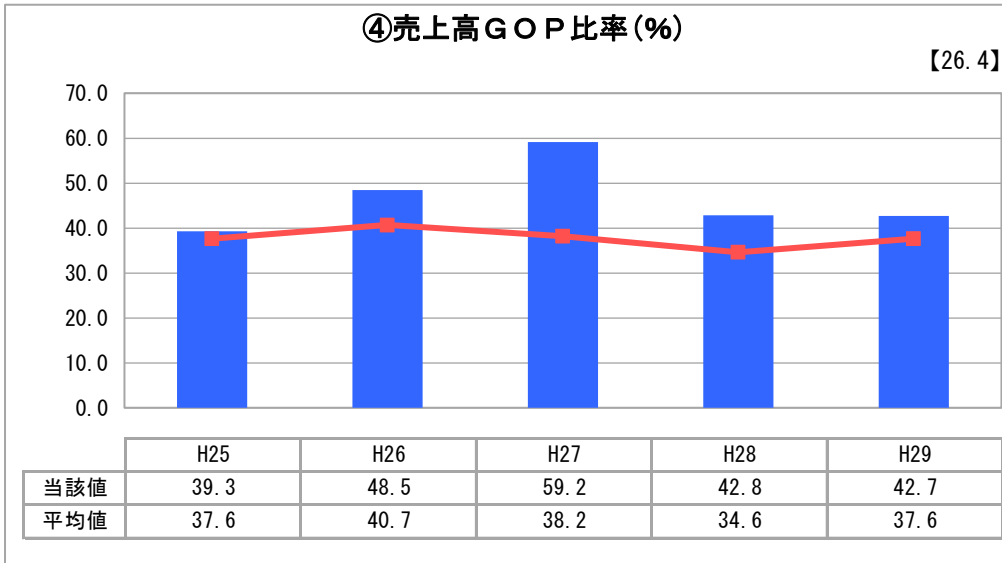
「経常損益」



「他会計補助金割合」

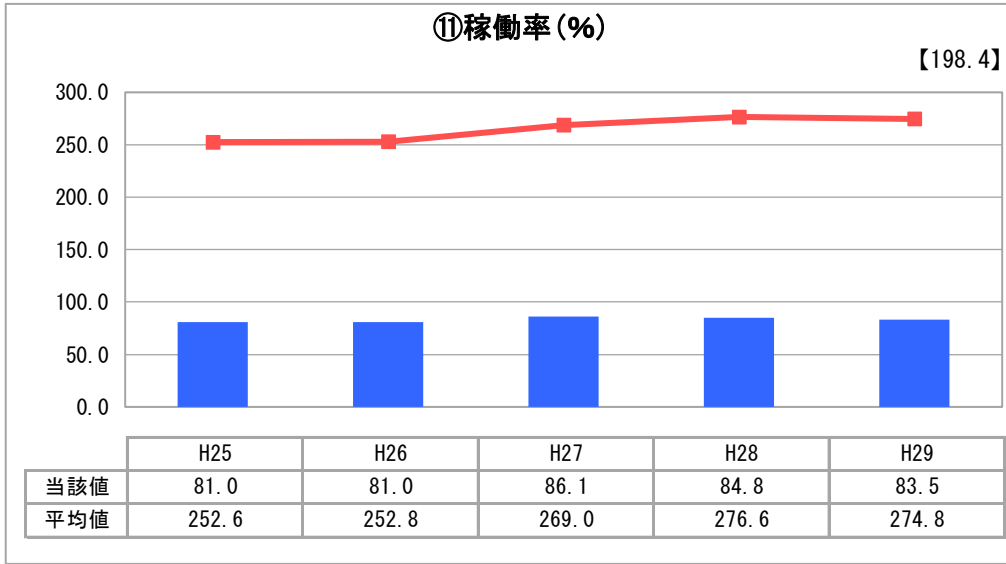


「他会計補助金額」

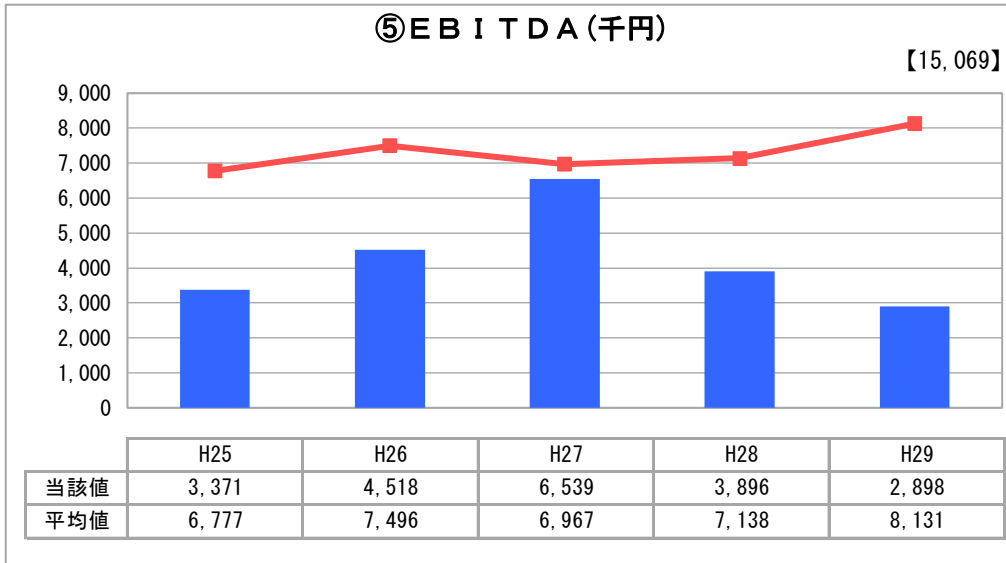


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

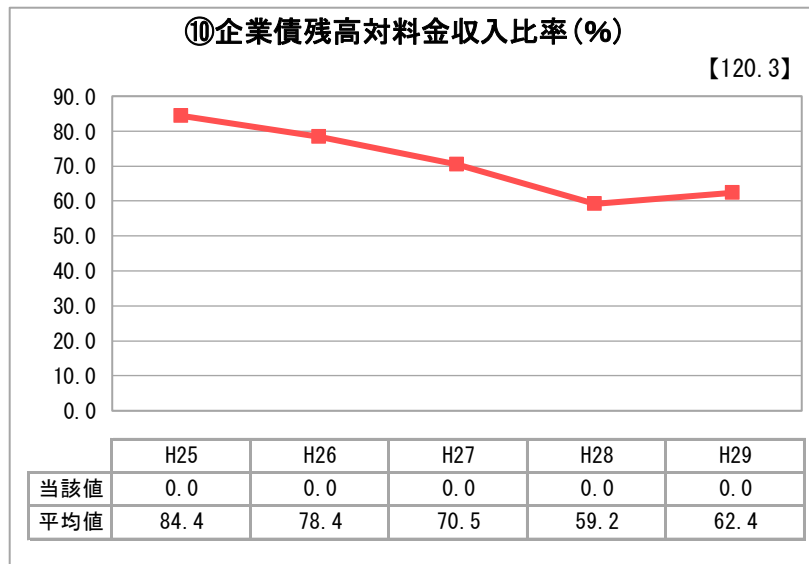


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
29
⑧設備投資見込額(千円)
5,459



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。

②③他会計補助金は受けていない。

④売上高GOP比率（営業利益）は近年平均値を上回っているが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が増加している。

⑤EBITDA（減価償却前営業利益）も同様に算出方法の変更および修繕費が増加したことで平成29年度は減少している。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。

平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替えを行っており、今後精算機発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について

⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。

利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括

経営は堅調に推移している。日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、支出減の経営努力を重ねる。また施設の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。

経営比較分析表（平成29年度決算）

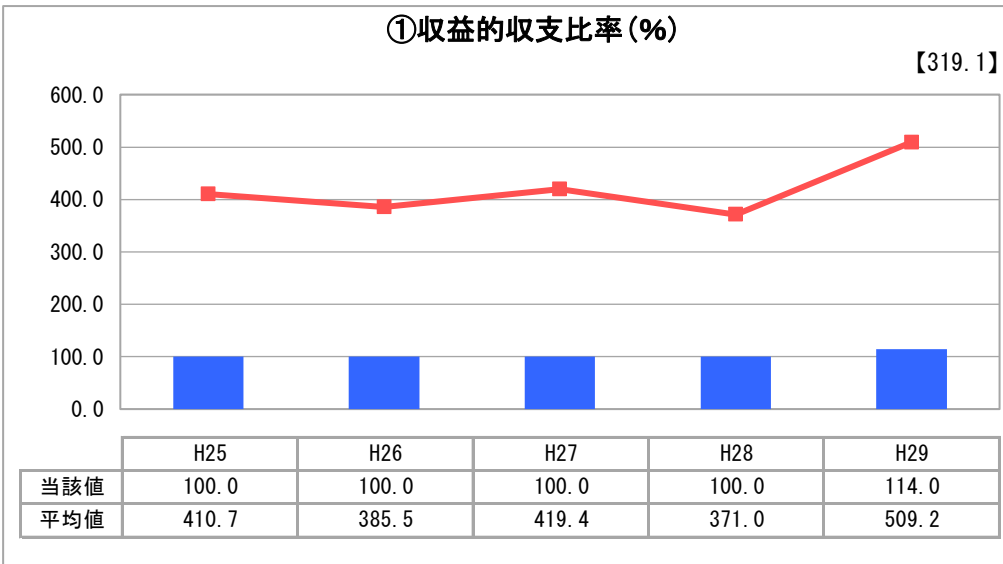
福井県鯖江市 鯖江駅東第3駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	14	

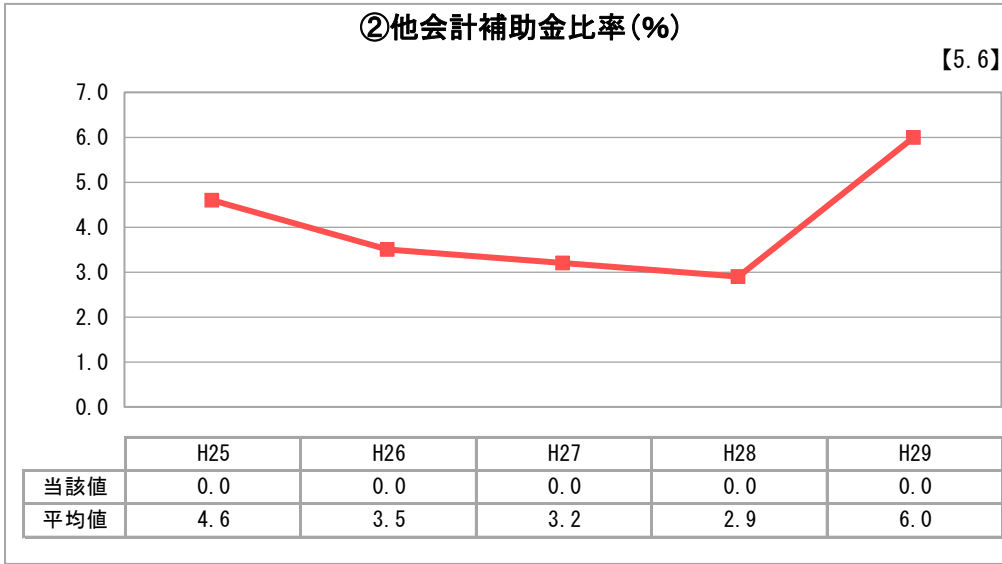
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	924
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
36	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

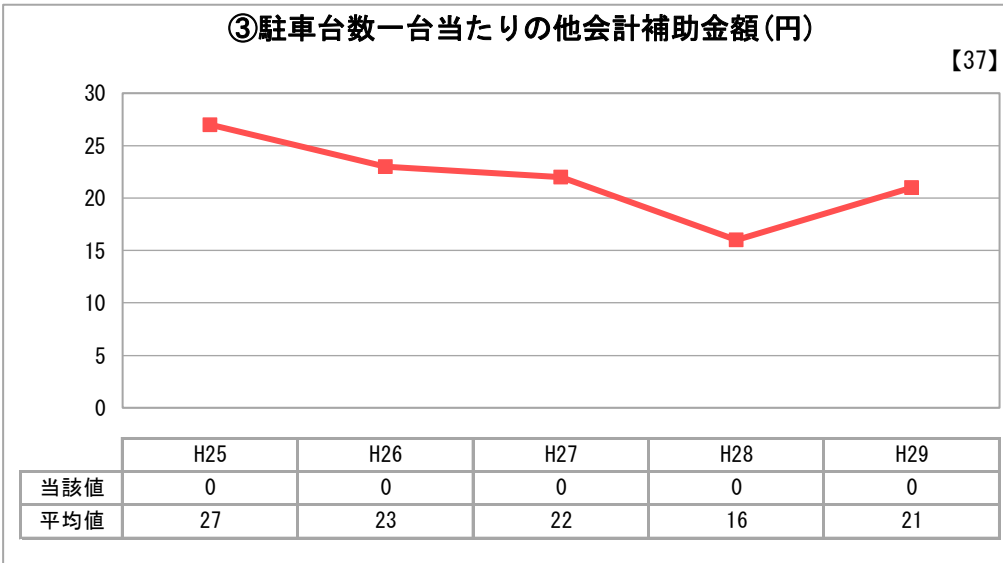
1. 収益等の状況



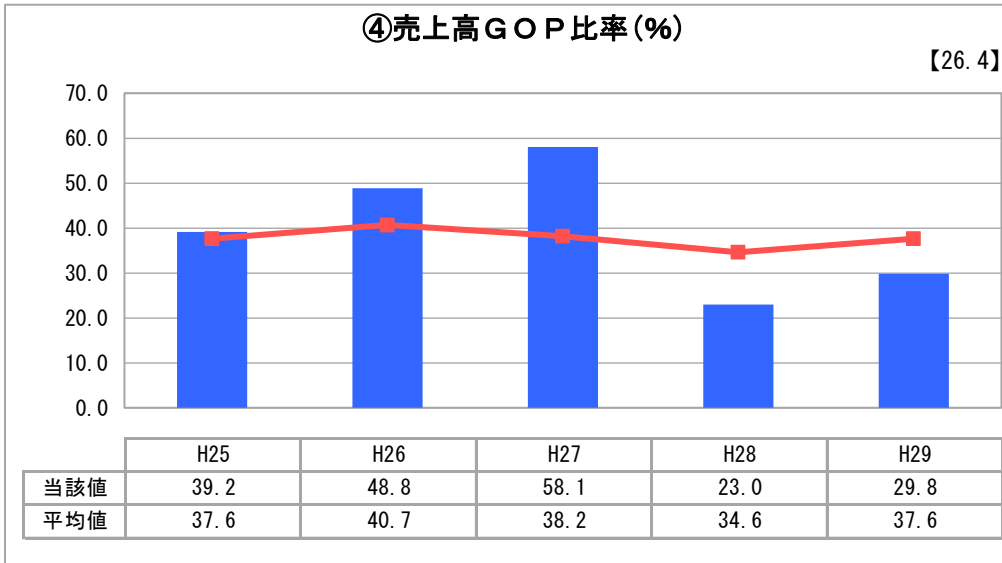
「経常損益」



「他会計補助金割合」

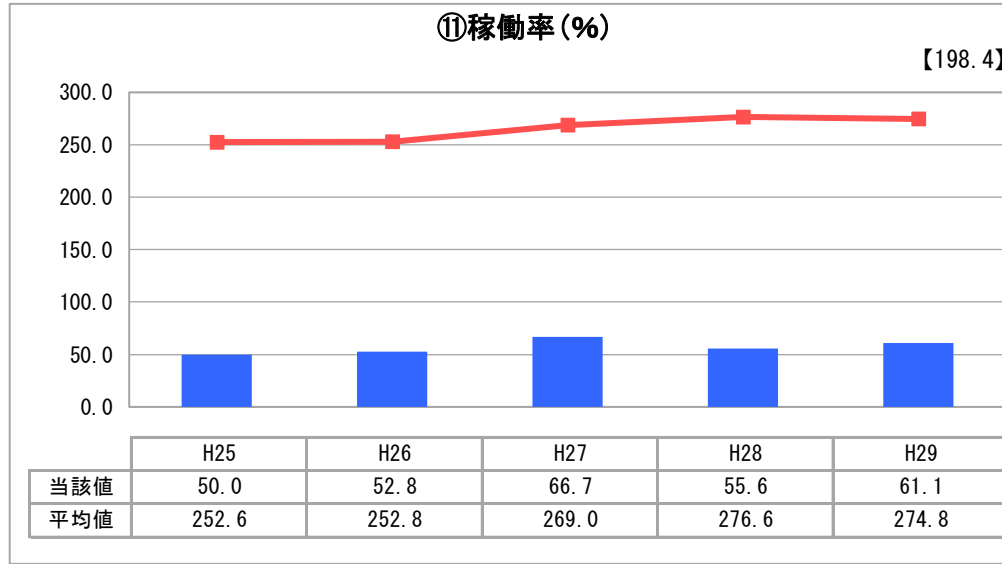


「他会計補助金額」

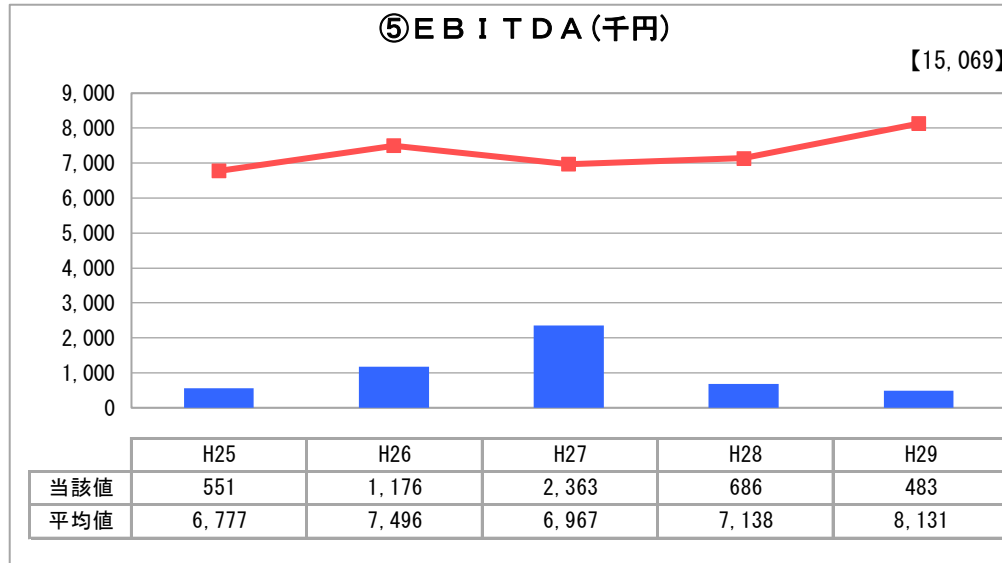


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

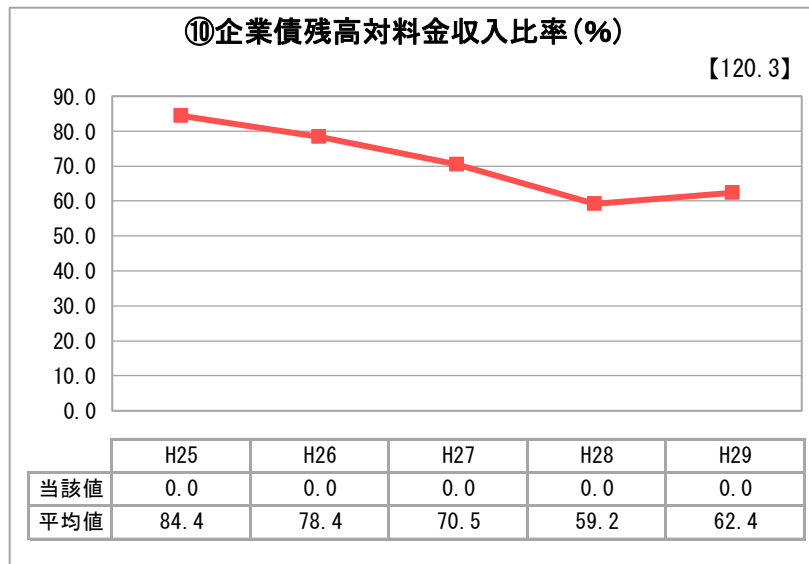


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
25
⑧設備投資見込額(千円)
6,538



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。
②③他会計補助金は受けていない。
④売上高GOP比率（営業利益）は近年平均値を上回っていたが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が増加し、平均値以下となった。
⑤EBITDA（減価償却前営業利益）も同様に算出方法の変更および修繕費が増加したことで平成29年度は減少している。

2. 資産等の状況について
企業債の借入れは行っていない。
現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。
平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替えを行っており、今後精算機発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について
⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。
利用実態としては、日中に満車状態になることが多く、利用率は高い。夕方・夜間は空車が目立つ傾向がある。

全体総括
経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。日中は満車の状態も多いため、これ以上の増加は見込みにくい。現状の利用率を維持し、支出減の経営努力を重ねる。また施設の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。

経営比較分析表（平成29年度決算）

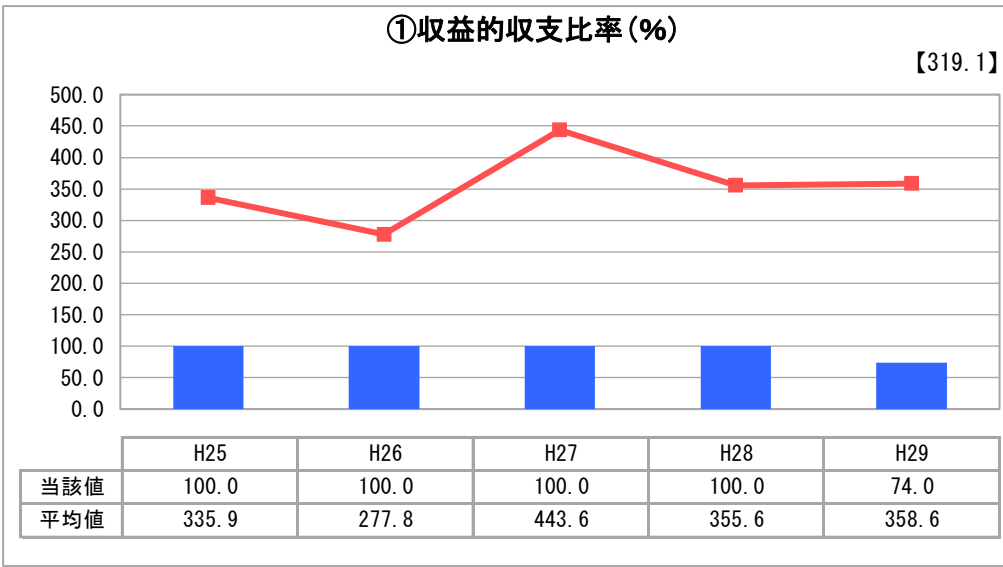
福井県鯖江市 文化センター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

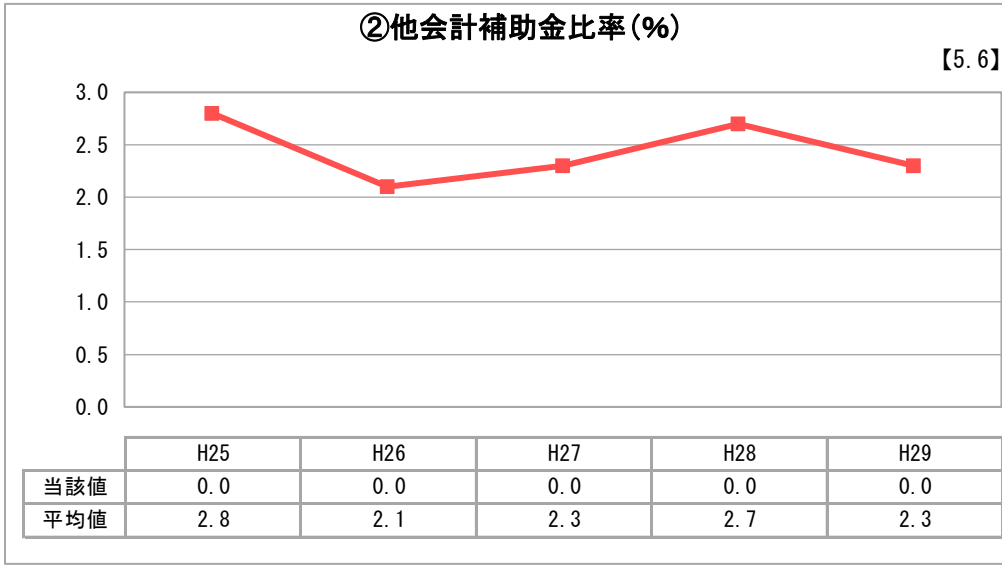
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	無	7,953
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
300	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

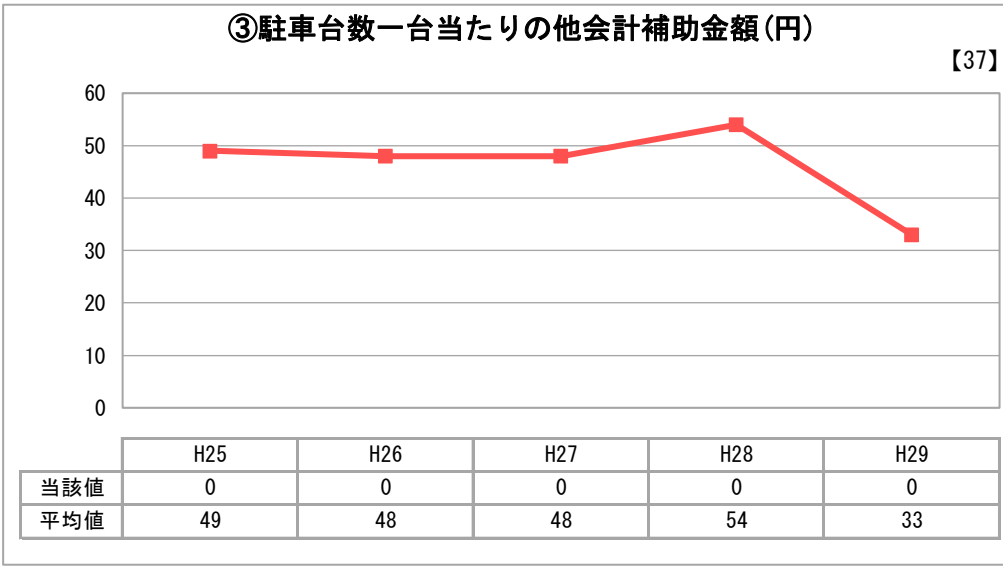
1. 収益等の状況



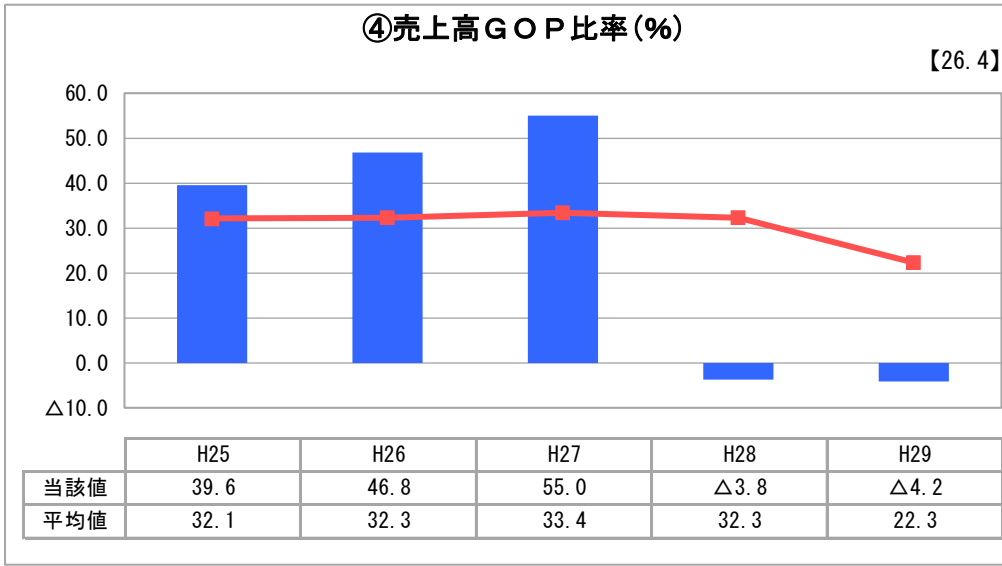
「経常損益」



「他会計補助金割合」

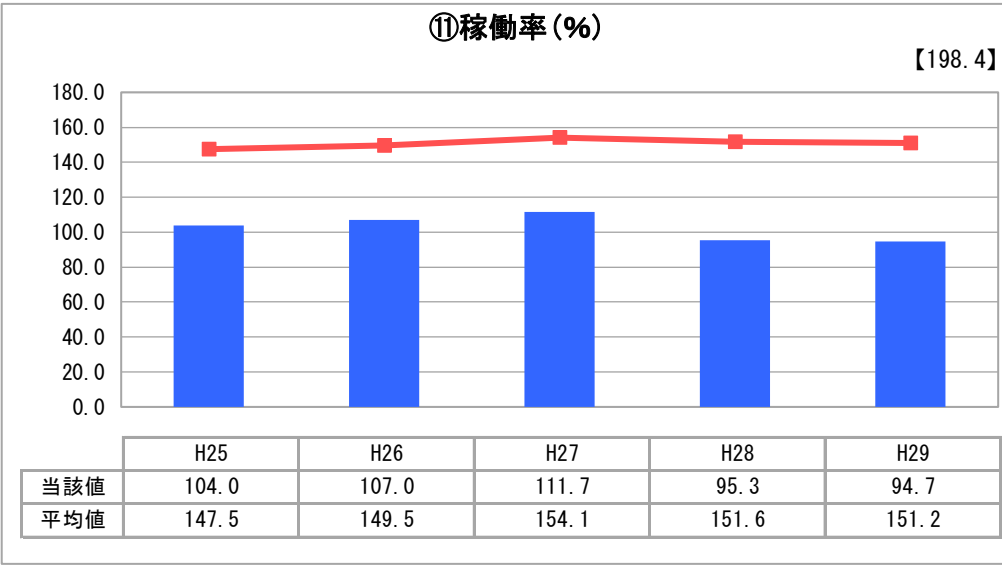


「他会計補助金額」

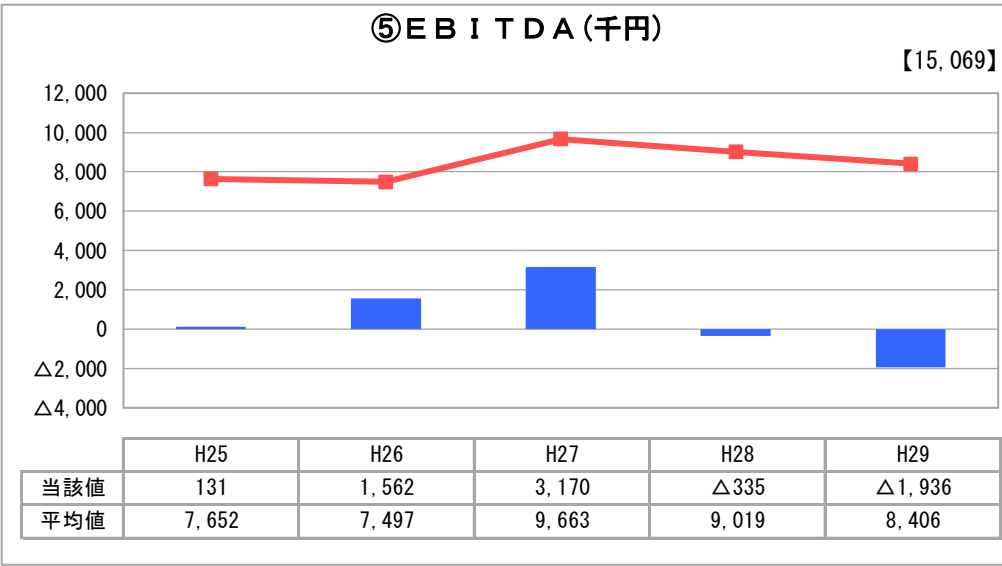


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

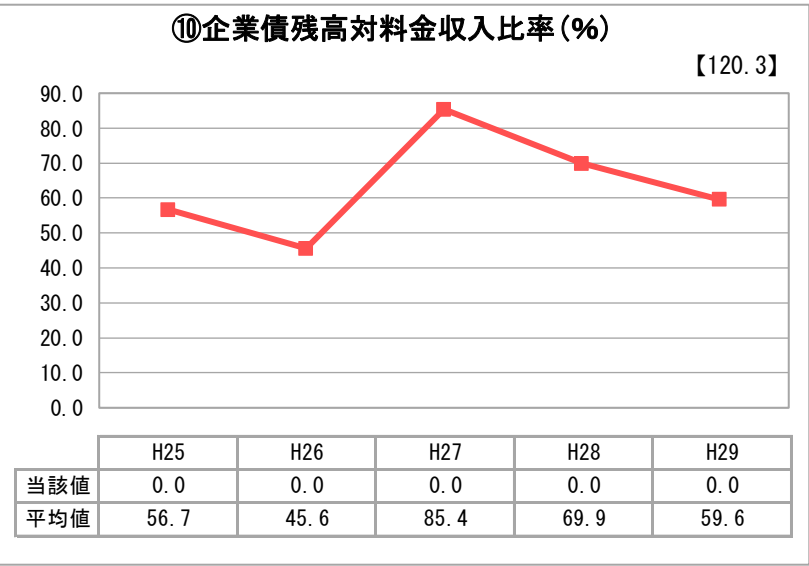


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)
26
⑧設備投資見込額(千円)
19,018



「累積欠損」



「債務残高」

1. 収益等の状況について

①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を下回り、不足部分を他の駐車場に依存している。

②③他会計補助金は受けていない。

④売上高GOP比率（営業利益）は近年平均値を上回っていたが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が増加し、マイナスとなった。

⑤EBITDA（減価償却前営業利益）も同様に算出方法の変更および修繕費が増加したことで平成29年度はマイナスとなっている。要因としては、(1)出入口が3カ所あるため設備の管理費が高いこと(2)4時間の無料時間を設けており、料金収入が低いことが挙げられる。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。

平成29年度に機器の塗り替え、テントの張替え、ループコイルの更新を行っており、今後精算機発券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について

⑪稼働率が低い要因として、(1)体育館、陸上競技場、文化施設が隣接し、土日祝日の日中のみ利用が集中するため(2)駅、商店街から遠いため、利用が限られていることが挙げられる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。

利用実態としては、土日祝日の利用率は高い。平日、イベントのない時間帯は空車が目立つ傾向がある。

全体総括

営業利益がマイナスとなった要因として、平成28年度の営業費用の算出方法の変更および平成29年度の修繕費の増加が挙げられる。今後、委託内容の変更や発券機台数の削減など歳出を減らす経営努力を行う必要がある。また施設の更新が近づいているため、管理費の低くなるよう方法を検討し、継続した運営をしていきたい。

経営比較分析表（平成29年度決算）

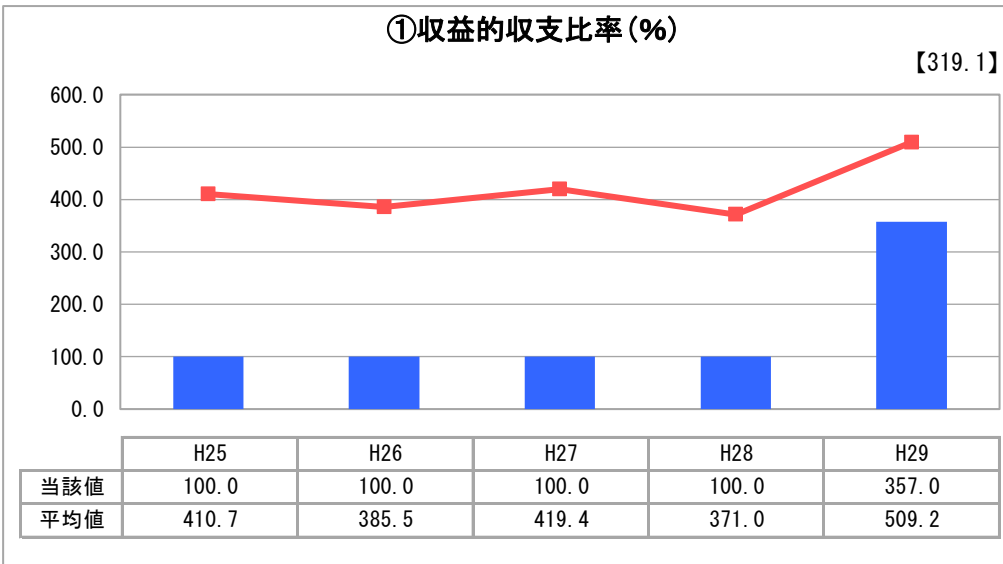
福井県鯖江市 北鯖江駅周辺駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	14	

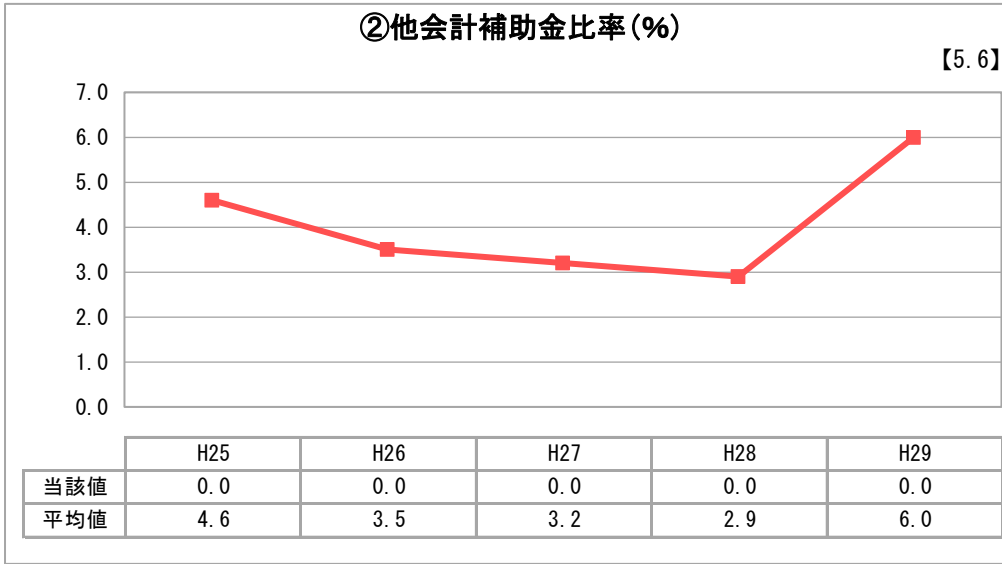
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	3, 823
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
159	300	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

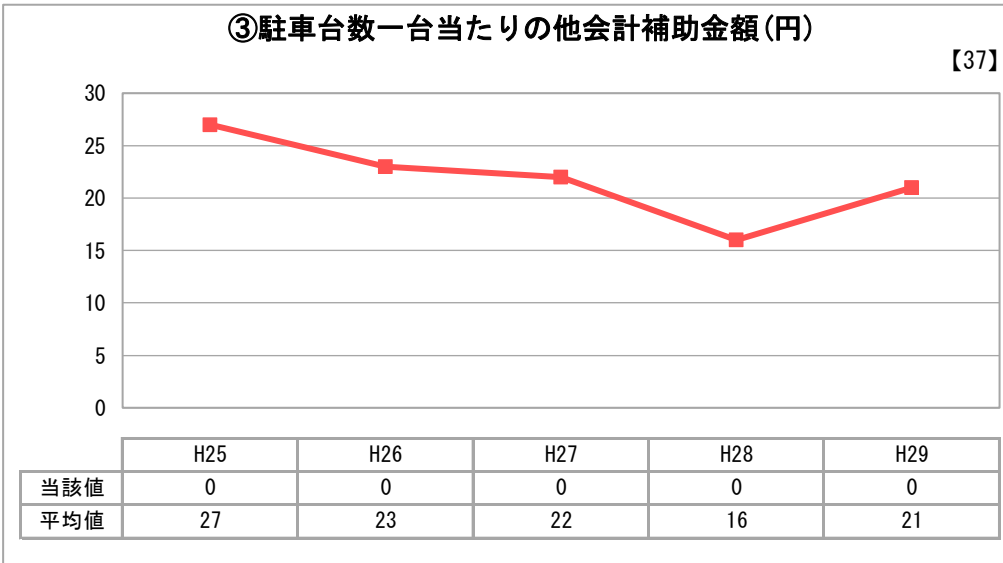
1. 収益等の状況



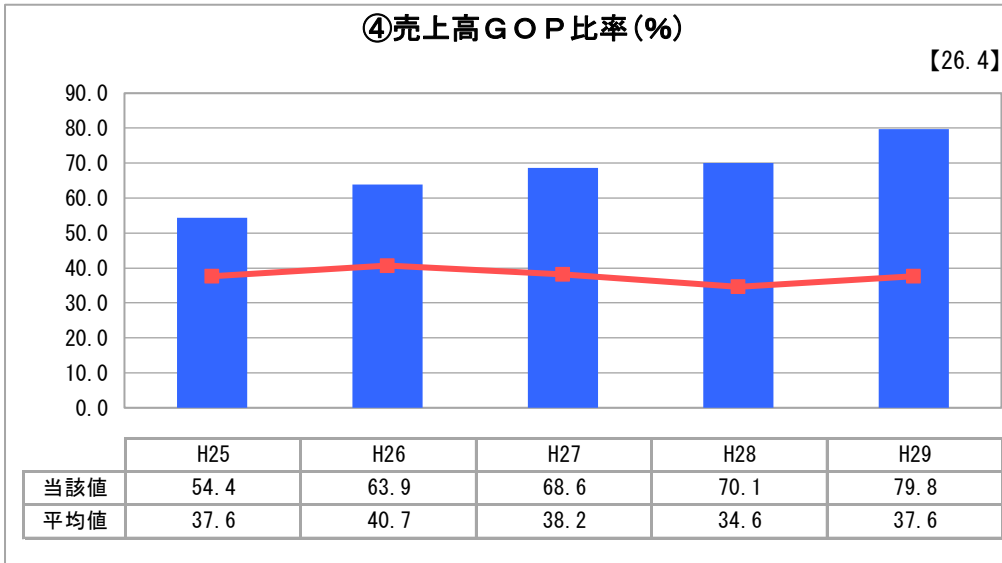
「経常損益」



「他会計補助金割合」

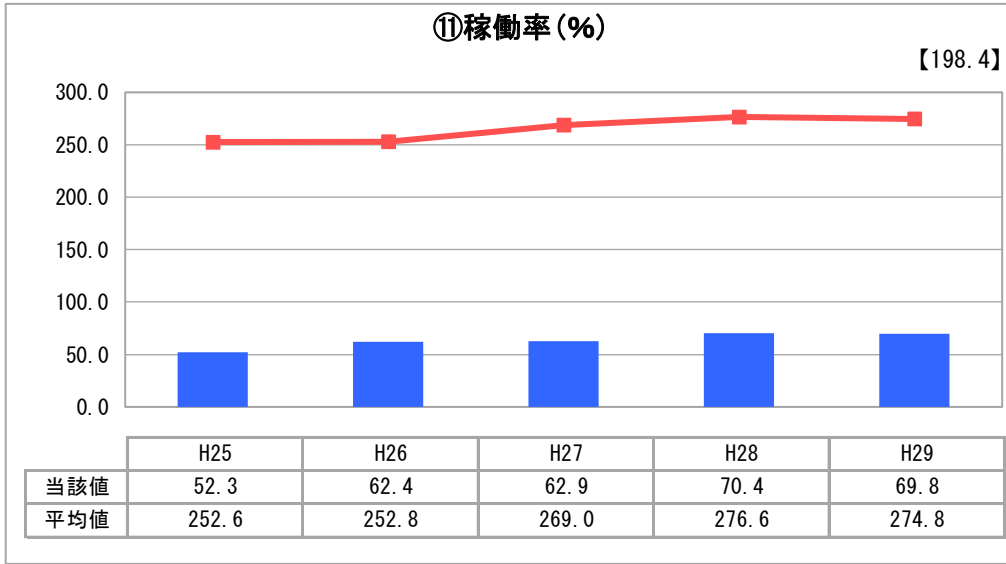


「他会計補助金額」

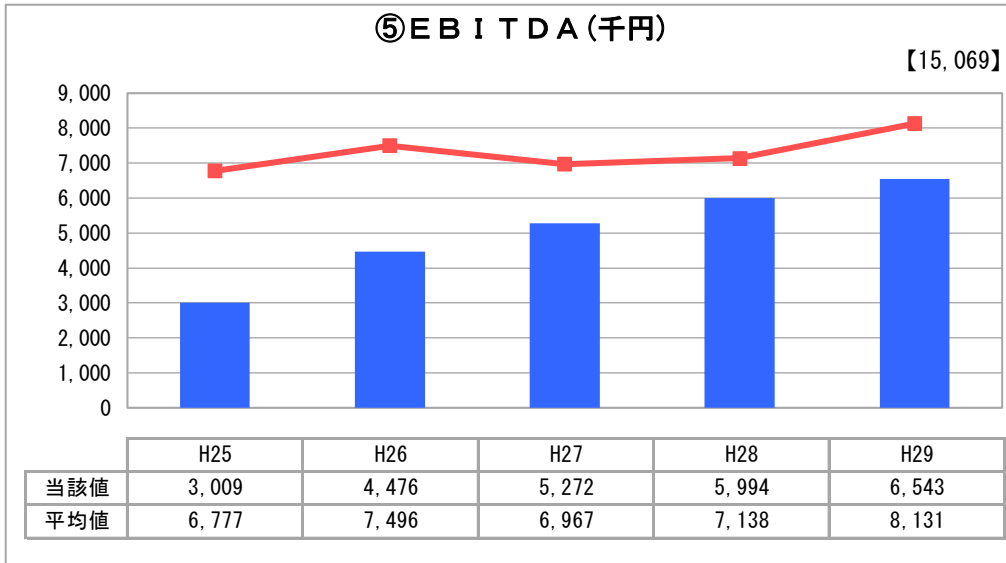


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

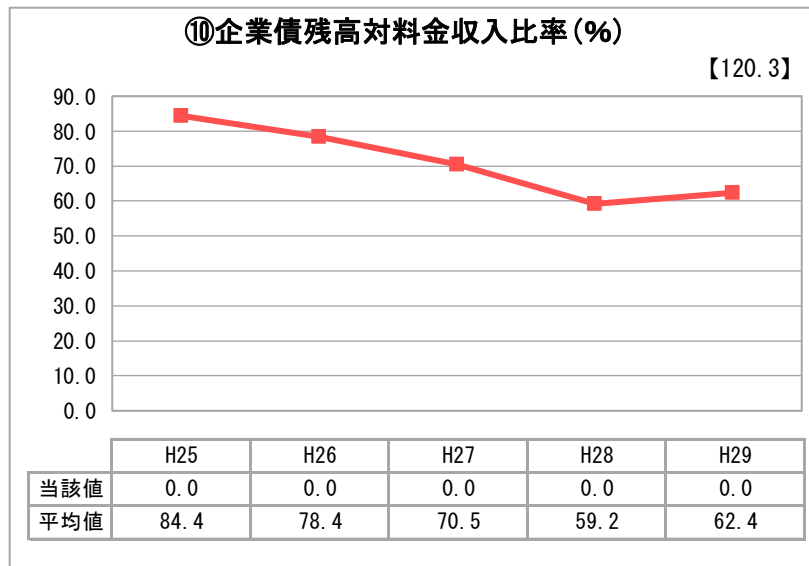


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価 (千円)
12
⑧設備投資見込額 (千円)
12, 000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

①平成29年度の収益的収支比率の計算において、一般会計に繰り出しをしている項目の変更を行っている。数値は100%を上回っており、経営は堅調に推移している。

②③他会計補助金は受けていない。

④⑤売上高GOP比率（営業利益）およびEBITDA（減価償却前営業利益）は、近年平均値を上回っているが、平成28年度に営業費用の算出方法を変更したことで、営業費用が減少し大きく改善している。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

現在の設備は平成15年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、一定の設備更新が見込まれる。

平成29年度に車止めや場内灯の修理を行っており、今後精算機券券機の更新を予定している。

3. 利用の状況について

⑪稼働率は類似施設と比較して低い数値であるが、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから滞在時間が長く、回転率が低くなるのが要因と思われる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるようにしたい。

利用実態として、定期券利用者と一般利用者が共通の場所を使用しており、満車になることはほとんどなく、適正を維持できている。

全体総括

経営は堅調に推移しており、健全性を確保できている。現状の稼働率が上がると、定期券利用者が利用できなくなるおそれがあるため、定期券の発行枚数の制限を継続し、支出減の経営努力を重ねる。また設備の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。